'73 3
No. 10
昭和48年3月1日発行
発行　横越村役場

広報 よこごし

おもな内容
1.統合小学校計図完成（P1）
2.昭和46年度一般会計決算 1997万円黒字（P2）
3.優秀農家の横顔（P2）
4.春の火災予防運動（P3）
5.ヨーロッパの農村を行く（P3）
6.NHK川上裕之氏の講演会（P3）
7.青年の船に青年14名がハバロフスクへ（P4）

小杉　松韻寺

統合小学校
待望の設計図完成

"児童中心に苦心した設計"

統合小学校の建設については、予定の通り手続きが進められ、本年度は、用地の埋立て工事が進行中である。昭和四十八年度は、建築工事が開始されることになり、この程その設計図が別図のように内定した。

校舎は、普通教室が十八教室、理科、音楽、家庭、図工図書、視聴覚、資料室等の準備室を加えた特別教室、校長室、職員室、保健室、放送室相談室、児童会室、給食室、用務員室などの管理部門の各室、体育館、その附属施設等が整備され、近代的な施設々備を整えた新校舎ができ上る予定である。全館暖房、水洗便所など保健的な施設も完備している。

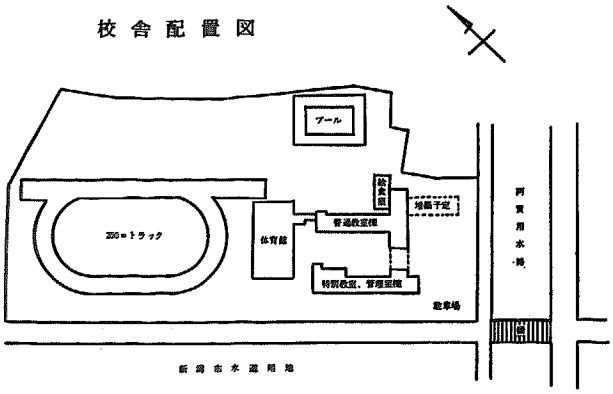
屋外施設は、二〇〇㍍のトラックが十分にとれ、百米の直線コースは楽であり、野球も安心してできることになるだろう。将来、プールの予定地もとってあり、駐車場、庭園などの構想も整っている。更に、今後児童数の増加の場合を見通して増築する場所もとってある。

すべてが、児童中心に考えられ、子供達が勉強のしやすいように、楽しい学校生活が送られるようにと設計されている。

この校舎は、昭和五十年までの三か年の間に建築が完成し、五十一年から正式に統合小学校として発足することになる予定である。

本年度、百周年を迎え、盛大な記念式を行った各小学校も、五十年までは現在小学校として存続するが、その年度末を以て、百数年の長い歴史を閉じることになる。そしてその伝統と精神は全村一丸となった新しい学校の基礎を築いて、新しい時代に即応した教育を行っていくことになるだろう。

校舎配置図



横越抄

ここ二、二年で横越村の様相が、急激に変ってきたような感じがします。各地域で圃地形成のためにたんぼが埋められ、学校、水道用地で埋立て工事が盛んに行われている様子を見ますと果して横越村の農業がこれからどうなっていくのかという危惧の念にうたれます。然し、その方面の識者のお話を聞きますと、横越村約一千町歩の中だから僅かな部分でありそんなに心配する必要もないとのことです。

然し、今こうして伝来の地が変貌していく様子を見ていると、祖先の方々が長い間苦労して培かわれた歴史が埋められていくような気がしてなりません。実際気持だけでなく、実際に昔から伝えられてきた遺跡、史跡などが消滅していく例を新聞紙上などで見受けられます。全国的にもこういう傾向が強くなってきているようで、それぞれの地位で文化的遺産を保護し保存していこうとする運動が起っている話をよく聞きます。

新潟県内でも文化財保護の気運が高まってきて、県内百十二市町村のうち七四が既に文化財保護条例を制定しており、残りの四八市町村でも漸次制定の方向に進んでいるようです。

横越村でも最近の急激な変化に対応して、保護条例を制定して頂くちょうどよい機会であると思うのです。そこで社会教育委員会、教育委員会等で審議をして頂いて、次の村議会で検討して頂くように予定しております。この条例が制定されましたら、委員の方々にお願いし、村内における各種の文化財を調査し横越村にとって重要なものを保護し、継承していかなければなりません。長い伝統を持つ横越村の歴史が長く我々の子孫に伝わっていくようにと。

（副中）